

分科会1 10月27日(土) 9:30-11:00

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
G1	一般パネル	徳川日本と明清中国・朝鮮の文化交流	徐 興慶	司会者	辻本 雅史	-
				発表者1	徳川 眞木	東アジア文化交流における水戸徳川家
				発表者2	高山 大毅	林家と朱舜水の墓制論—水戸徳川家墓所をめぐって—
				発表者3	蔣 薫誼	清代中期における和刻本漢籍の輸入—新たな日本像の一側面—
				討論者	徐 興慶	
				討論者	田 世民	
A1	一般パネル	戦時期帝国日本の空間と構想	安達 宏昭	司会者	横溝 博	-
				発表者1	安達 宏昭	戦時期日本の長期的経済建設構想
				発表者2	加藤 諭	戦時期日本の帝国大学における研究所体制整備と構想
				発表者3	殷 志強	近衛内閣と戦争動員体制
				討論者	大野 晃嗣	-
B1	一般パネル	現代日本社会の「生殖」における男性の役割—妊娠・出産・育児をめぐるナラティブから	グアリーニ・レティツィア	司会者	コーベル・アメリ	-
				発表者1	ファスベンダー・イサベル	「妊活」言説における男らしさ—現代日本社会における「産ませる性」としての男性に関する言説分析
				発表者2	グアリーニ・レティツィア	妊娠・出産・育児がつくりあげる男性の身体—川端裕人「ふにゆう」と「デリパニ」を手がかりに
				討論者	デール・ソンヤ	-
				討論者	モリソン・リンジー	-
C1	次世代パネル	帝国日本の文化支配と植民地台湾の大衆文化変容	魏 逸瑩	司会者 討論者	鈴木 恵可	-
				発表者1	江 永博	台湾総督府の文化政策と漢民族社会—史跡名勝天然記念物の保存を中心に—
				発表者2	周 俊宇	『皇民化』時期の植民地台湾で語られる台湾人の『支那民族性』
				発表者3	徐 聖凱	『郷土』の流行—日本統治期中期の多元的娯楽活動における台湾の地域色
				発表者4	魏 逸瑩	台湾語映画における日本作品のリメイク
				進行	松田 利彦	-
IA1	一般パネル	東アジアにおける日本の災害復興史	牧原 出	司会者	牧原 出	-
				発表者1	牧原 出	記憶の記録と伝承: 自然災害と戦争
				発表者2	手塚 洋輔	被災者への財政支援の展開
				発表者3	林 昌宏	港湾に関する復興・減災政策の効果と問題点—海運業と漁業の対比から
				発表者4	ヨアン・トリフ	戦後初期の日本における災害復旧・復興の政治過程: 1948年福井地震と1959年伊勢湾台風を中心に
IB1	次世代パネル	帝国日本と近代都市青島	単 荷君	司会者	矢野 真太郎	-
				発表者1 討論者	単 荷君	日本第一次占領期の都市開発政策—日本人新市街の形成を中心に
				発表者2 討論者	徐 暢	中国青島市における近代集合住宅の経営と住宅形態の関係
				発表者3 討論者	矢野 真太郎	日中「経済提携」における山東省の位置づけ—1930年代の華北棉花開発を中心に—
				発表者4 討論者	郭 琿	青島日本人社会の帝国意識について(1914~1937)
				進行	郭 連友	-

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
G2	一般パネル	視覚メディア(サブカルチャー)からみる日本と北米の表象	韓 榮恵	司会者	徐 東周	-
				発表者1	貞包 英之	アニメーションを「消費」する:1930年代、ミッキーマウスの移入からみる戦前消費社会の限界と可能性
				発表者2	徐 東周	1930年代の植民地朝鮮におけるモダニティーとアメリカの表象:チャーリー・チャップリンの映画の受容をめぐって
				発表者3	金 孝眞	同性婚が黒船に乗ってやってきた:「弟の夫」を通してみる日本と北米の表象
				討論者	南 相旭	-
				討論者	李 垠庚	-
A2	一般パネル	日本帝国の司法システムからみた植民地台湾の犯罪と女性	陳 延媛	司会者 討論者	吳 宗謀	-
				発表者1	曾 文亮	植民地台湾における女性犯罪の統計的分析
				発表者2	梁 秋虹	植民地女性如花柳病病原なり?:私娼取締からみた植民地統治初期台湾と満州における性感染症対策の立案過程
				発表者3	陳 延媛	「娼妓稼業公證書」からみた1910年代植民地台湾の日本人娼婦
B2	一般パネル	東アジアのなかの明治維新	郭 連友	司会者 討論者	郭 連友	-
				発表者1	王 鑫	明治期における妖怪学研究
				発表者2	程 茜	岡倉天心のアジア主義についての再考察
				発表者3	劉 玥揚	東洋的視点から見る明治天皇像
				発表者4	仲 玉花	明治維新と近代中国知識人の翻訳活動-梁啓超の翻訳活動を中心に
				発表者5	党 蓓蓓	横井小楠の西洋認識について——其のキリスト教理解を中心に
				発表者6	張 慧	明治期における孟子書籍に関する一考察
C2	一般パネル	世界文学中の日本文学——村上春樹『騎士団長殺し』を例に	曾 秋桂	司会者	曾 秋桂	-
				発表者1	落合 由治	佐藤春夫『田園の憂鬱』から村上春樹『騎士団長殺し』へ——長編小説の文章構成の継承—成の継承—
				発表者2	王 嘉臨	絵画と言葉の交わり—『騎士団長殺し』の叙述に着目して—
				討論者	葉 菱	村上春樹『騎士団長殺し』における東北・北海道の旅
				討論者	内田 康	『騎士団長殺し』と『バーニング(Burning)』—村上春樹による村上春樹/李滄東による村上春樹—
IA2	次世代パネル	東アジアの思想的なハイブリディティ……結節点としての日本	テン・ヴェニアミン	司会者	文 斗卓	-
				発表者1	李 静	仏教・朱子学・キリスト教の対決:不干斎ハビアンの改宗についての一考察
				発表者2	銭 正枝	「日本」の混合性と純粋性:岡倉天心の「日本美術史」講義を中心に
				発表者3	李 然	朝鮮後期における「南学」(日本学)の成立と小中華:元重拳と李徳懋を中心に
				発表者4	テン・ヴェニアミン	ロシアにおける禅仏教の理解:グリゴリー・ポメランツの鈴木大拙論を中心に
				討論者	高橋 一友	-
				進行	友常 勉	-
IB2	自由発表 パネル	近代日中間の相互認識と交流	-	司会者	劉 岳兵	-
				発表者1	劉 玲芳	東アジアにおける人・物の移動と表象 近代日中両国における服飾文化の交流 —日本の「学生服」から中国の「中山装」へ—
				発表者2	朱 琳	「滅亡」と「掙扎」の思想:戦時下の日本知識人の中国認識が何を意味するのか? ——『司馬遷』と『魯迅』を中心に——
				発表者3	閻 秋君	1880年代前半における清国改革論—岡千仞の論説を中心に—
				発表者4	周 堂波	日本庭園における「幽玄」——「日本的なもの」への道程の再考——後藤朝太郎の中国庭園に関する言説から——

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
G3	一般パネル	感情の東アジア史 —ルサンチマンをめぐる死者と生者の語り合い—	李 康民	司会者	李 康民	-
				発表者1	李 世淵	「王」の非業の死と分岐する想像力
				発表者2	金 京姫	剪燈新話、金鰲新話、兩月物語: 越境する怨恨と変容する物語
				発表者3	李 市俊	戦前、在朝日本人による朝鮮の鬼神研究について
				討論者	近藤 瑞木	-
				討論者	韓 京子	-
				討論者	村上 謙	-
A3	一般パネル	東アジア文化圏としての日本古代音楽と文学	正道寺 康子	司会者	正道寺 康子	-
				発表者1 討論者	豊永 聡美	日本の宮廷社会と音楽
				発表者2 討論者	上原 作和	東アジア琴学史の構想
				発表者3 討論者	森野 正弘	物語における絃楽器の相承—『源氏物語』の和琴と人物の関係—
				発表者4 討論者	笹生 美貴子	『教訓抄』における雅楽
				討論者	庄 長華	-
B3	一般パネル	アジアにおける日本研究者ネットワークの構築—SGRA(渥美国際交流財団)の取り組みを中心に	張 桂娥	司会者	劉 傑	-
				発表者1	マキト・フェルディナント	日比共有型成長セミナーの経緯、現状と課題
				発表者2	金 雄熙	日韓アジア未来フォーラムの経緯、現状と課題
				発表者3	孫 建軍	SGRAチャイナフォーラムの経緯、現状と課題
				発表者4	張 桂娥	日台アジア未来フォーラムの経緯、現状と課題
				討論者	稲賀 繁美	-
				討論者	徐 興慶	-
C3	自由発表 パネル	近代東アジアにおける戦争・植民地・労働	-	司会者	木村 幹	-
				発表者1	山城 智史	明治初期における琉球処分政策と条約改正交渉のトランスナショナルな関係性
				発表者2	岡崎 まゆみ	19世紀末～20世紀初・朝鮮における「訴訟」観の転換
				発表者3	向後 恵里子	東アジアにおける誕生と死の近代 サブテーマ: 惨たる死のメモラビリアとスペクタクル—日露戦争と尼港事件を題材として
				発表者4	梁 昕怡	都市近代化と社会政策

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
	次世代パネル	日本王権の支配構造と儀礼社会	殷捷	司会者	龔 婷	平安京における天皇・太上天皇の葬送空間
				発表者1 討論者	殷捷	鎌倉・南北朝期の造営官司・下級官人—修理職・作所奉行橘氏を事例に—
				発表者2 討論者	康 昊	文和三年の鎮魂水陸会と室町幕府
				発表者3 討論者	板谷 寿美	中世興福寺における処罰制度—籠名の事例から—
				発表者4 討論者	劉 晨	近世前期徳川將軍家の参内と天皇権威
				発表者5 討論者	賀 申杰	1920年代以降における臣籍降下制度の沿革と皇族の抵抗
				発表者6 討論者	倉本 一宏	—
IB3	一般パネル	競争力の向上と国際分業—日本とアジアを中心に—	黎立仁	司会者 討論者	黎立仁	—
				発表者1	時 鍵	日本企業の海外研究開発の展開に関する考察
				発表者2	曾 耀鋒	日本の高齢者介護ビジネスにおける労働力の確保への取り組み
				発表者3	吳 嘉鎮	NVIDIA社のGPU発展史から見る日米半導体産業構造の違い
				発表者4	葉 東哲	国際分業体制における国内優位性の再構築—台湾ものづくりの課題と可能性について—
				討論者	李 嗣堯	—
				討論者	曾 耀鋒	—

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
G4	一般パネル	人文学の活性化を目指す日本研究——言葉と思想——	林立萍	司会者 討論者	辻本 雅史	-
				発表者1	林立萍	現代日本語における英語からの外来語の品詞
				発表者2	徐 興慶	立原翠軒と「中期水戸学」の形成
				発表者3	田 世民	近世日本遊学思想史——柴野栗山を例として
A4	一般パネル	東アジアにおける人の移動—留日学生からみる東アジア国際関係史	浜口 裕子	司会者	浜口 裕子	-
				発表者1	家近 亮子	日本の軍事留日学生の受入れ—成城学校を事例として—
				発表者2	広中 一成	「成城学校初期浙江省出身留日学生の動向—黄龍旗事件と「漢奸」湯爾和
				発表者3	浜口 裕子	「満洲」からの留学生—振武学校・陸軍士官学校から「満洲国」大臣へ
				発表者4	見城 悌治	「近代日本で医薬学を学んだ中国留学生 — その動向と帰国後の活動」
				討論者	孫 安石	-
B4	一般パネル	選挙区と日本政治—空間的制 度分析へのアプローチ	清水 唯一朗	司会者 討論者	清水 唯一朗	-
				発表者1	鎌原 勇太 中島 有希大	旧藩の境界と選挙区—その経路依存性と変動に関する分析
				発表者2	宋 財法 重村 壮平 品田 裕	選挙制度改革による利益誘導政治の変容と継続
				発表者3	飯田 健	京都市における共産党の支持基盤
				討論者	粕谷 祐子	-
C4	一般パネル	東アジアの冷戦と在日朝鮮人— 移動・表象・言説—	李 英美	司会者	宇野田 尚哉	-
				発表者1	李 英美	戦後日本における在日朝鮮人の移動と管理:外国人登録をめぐる「境界」の再考
				発表者2	丁 智恵	敗戦／解放直後の在日朝鮮人による民主主義メディアの萌芽と実践
				発表者3	マシューズ・ジョエル	近代日本のコロニアル・クリミナリティ:『不逞鮮人』『第三国人』そしてヘイトスピーチによる系譜学的分析
IA4	一般パネル	アジア思想における超越と抵抗— — 霊性と美学の地政学	友常 勉	司会者	友常 勉	-
				発表者1	船戸 雅也	石田梅岩における〈心〉と覚醒
				発表者2	野平 宗弘	ベトナム戦争下のベトナム思想——ファム・コン・ティエンの〈越〉と〈性〉——
				発表者3	古川 美佳	韓国の民衆美術—抵抗の美学と思想
				討論者	徐 載坤	-
				討論者	蕭 幸君	-
	次世代パネル	近代日本と琉球・台湾	村上 優	司会者 発表者1 討論者	比屋根 亮太	琉球国の牡丹社事件史観
				発表者2 討論者	齋藤 隼人	霧社事件を描いた新聞漫画における対立の表象と風刺
				発表者3 通訳者	村上 優	理蕃政策における植民地近代性—「川中島社」時間概念の変容
				発表者4 討論者	許 雅筑	蕃人の『教化』:『理蕃の友』における原住民女子青年団の議論を中心に
				進行	松田 利彦	-

分科会4 10月28日(日) 9:30-11:00

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
D4	次世代パネル	1980年代以降の日本社会の変容とその評価:教育・労働・思想に注目して	姚 逸葦	司会者 討論者	許 燕華	-
				発表者1	姚 逸葦	『いじめ』の対策転換と統治性の変容:文部科学省によるいじめ定義の改訂の考察
				発表者2	郭 雲蔚	日本型雇用制度の変容:組織アプローチからみる雇用形態間の格差
				発表者3	吉 琛佳	竹内好の『二重構造』論と現代日本
				進行	稲賀 繁美	-
E4	自由発表 パネル	現代日本の諸相	-	司会者	韓 榮恵	-
				発表者1	河西 秀哉	平成の天皇制とは何か
				発表者2	セシル・ラリ	しろねの大風合戦 白根の歴史と住民のシンボル
				発表者3	金 日林	「オタク文化的公共圏」研究
				発表者4	林 亜美	日本の就労支援におけるジェンダー平等への一考察
				発表者5	エンフゾル・ガルサン ジグメド	モンゴルにおける日本投資企業で働く女性に関する事例研究
				発表者6	高橋 加織	アジアのホテル業における日本的接客サービス

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
G5	主催者パネル	東アジア日本研究フォーラム	松田 利彦	司会者	松田 利彦	-
				発表者1	郭 連友	北京日本学研究中心の取り組みと研究動向
				発表者2	徐 禎完	韓国の日本研究: 翰林大学日本学研究所の研究活動を中心に
				発表者3	徐 興慶	台湾における日本研究—若手研究者育成の進展—
				発表者4	金 孝眞	日韓関係の変化から考える日本研究の新しい方向性
A5	一般パネル	帝国日本とその他者——越境する思想・政策・行動	郭 馳洋	司会者	郭 馳洋	-
				発表者1 討論者	郭 馳洋	明治・清末の知識人における宗教と国家——井上円了と章炳麟の場合
				発表者2 討論者	斉 崇硯	日本帝国における日本と台湾の治安法制の比較研究——国体論と台湾人の公民権の変化を中心に
				発表者3 討論者	謝 辰	帝国日本における社会民主主義とその戦時変化——嵯山政道を例として
				発表者4 討論者	孔 令偉	蒙疆政権における日本と中国の諜報活動と情報戦(1937-1945)
B5	一般パネル	戦前期に日本国内・台湾・朝鮮で使用された漢文教科書	町 泉寿郎	司会者	町 泉寿郎	-
				発表者1	川邊 雄大	戦前期台湾における日本人教師の漢学的素養—伊藤賢道を例として—
				発表者2	白柳 弘幸	日本植民地統治下台湾における漢文教師—明治期の彰化公学校を中心に—
				発表者3	朴 暎美	戦前期に朝鮮で使用された漢文教科書と従来の研究
				発表者4	宮本 雅也	文検漢文科からみる漢文教育の概観
				発表者5	合山 林太郎	近代日本における漢詩についての教養のあり方とその位置づけ
				討論者	中村 聡	-
C5	次世代パネル	日中韓3ヶ国の相互認識と三国関係	崔 恩美	司会者	杉村 豪一	-
				発表者1	崔 恩美	日中韓3ヶ国の相互認識と三国関係
				発表者2	米沢 竜也	日中韓大学間交流プログラム「キャンパス・アジア」の成果と課題
				発表者3	張 暮輝	日中韓FTAの発展と課題
				討論者	マスロー・セバスチャン	-
進行	坪井 秀人	-				
IA5	一般パネル	東アジアの内外を移動・伝播した日本関連資料の発掘と活用	稲賀 繁美	司会者	稲賀 繁美	-
				発表者1	フレデリック・クレインス	江戸期のオランダ商館における情報管理—幕府の情報管理との比較を通じて
				発表者2	日高 薫	国際連携による在外資料調査とその活用
				発表者3	シルヴィオ・ヴィータ	昭和戦前期における宣教師の歴史研究—マリオ・マレガ神父とその「分脈」
				発表者4	朝日 祥之	日系社会における言語生活の可視化—国内外の資料から
				発表者5	根川 幸男	オランダ商館文書の伝播経路可視化の試み
IB5	自由発表 パネル	歴史の記録と記憶	-	司会者	磯前 順一	-
				発表者1	岡崎 享子	在日朝鮮人文学における言語観
				発表者2	山本 めゆ	満蒙開拓と性暴力を語り継ぐ—長野県・満蒙開拓平和記念館に託された被害と加害の語り
				発表者3	韓 昇憲	日本朝鮮研究所の日朝学術交流運動—東アジアの冷戦下の学問と政治—
				発表者4	尹 在彦	冷戦後における日本の「被害者政治」と対外政策—原爆被害者と拉致問題を事例に
				発表者5	佐野 豪俊	アジア歴史資料センターとその利便性向上に向けた取り組み

セッション	種別	パネル主題	代表者	役割	氏名	発表テーマ
D5	自由発表 パネル	文化の受容と表象	-	司会者	牛村 圭	-
				発表者1	巖 茹蕙	日本古代の七月七日節と相撲節の変遷について——東アジア礼規制と律令制の施行の一側面
				発表者2	田中 圭子	東アジアにおける人・物の移動と表象 副題: 日本の香文化の萌芽期に見る東アジアの影響
				発表者3	吳 天嬌	『徒然草』における「忍びやかに」の意味と章段における意義について
				発表者4	古田島 洋介	固有文字への矜持 ——ハンゲルと神代文字——
				発表者5	周 雨霏	ワイマール・ドイツにおけるプロレタリア文学運動と日本: K. A. ウィットフォーゲル作品の受容を中心に
E5	自由発表 パネル	前近代東アジアにおける宗教 交流	-	発表者6	葉 暁瑤	『金閣寺』『親切な機械』における戦後京都——同じ事件を扱った他作品との比較を通して——
				司会者	榎本 涉	-
				発表者1	郭 珮君	東アジア文化交流の中の天台仏教: 平安時代源信の創作と宋代天台復興の繋がり
				発表者2	楊 慶慶	黄檗宗と日本臨済宗及び曹洞宗の清規思想の比較— 『黄檗清規』と『小叢林略清規』『洞上僧堂清規行法鈔』の比較を中心に
				発表者3	黄 薇姍	隠元・近世黄檗宗に対する日本側の反響—批判者としての向井元升と無著道忠を中心に—
				発表者4	李 麗	東アジアにおける人・物の移動と表象 サブテーマ: 帰化明人陳元賛と深草元政の交友の実態
発表者5	宋 琦	東アジアにおける諸宗教の交流 —— 白隠禅における神儒仏三教思想を例として ——				